

不思議の国



シリーズ～神の国～

2013/9/8

マタイ福音書21章33～42節

もう一つのたとえを聞きなさい。ある家の主人がぶどう園を作り、垣を巡らし、その中に搾り場を掘り、見張りのやぐらを立て、これを農夫たちに貸して旅に出た。さて、収穫の 때가近づいたとき、収穫を受け取るために、僕たちを農夫たちのところへ送った。だが、農夫たちはこの僕たちを捕まえ、一人を袋だたきにし、一人を殺し、一人を石で打ち殺した。また、他の僕たちを前よりも多く送ったが、農夫たちは同じ目に遭わせた。そこで最後に、『わたしの息子なら敬ってくれるだろう』と言って、主人は自分の息子を送った。

農夫たちは、その息子を見て話し合った。『これは跡取りだ。さあ、殺して、彼の相続財産を我々のものにしよう。』そして、息子を捕まえ、ぶどう園の外にほうり出して殺してしまった。さて、ぶどう園の主人が帰って来たら、この農夫たちをどうするだろうか。」彼らは言った。「その悪人どもをひどい目に遭わせて殺し、ぶどう園は、季節ごとに収穫を納めるほかの農夫たちに貸すにちがいない。」

イエスは言われた。「聖書にこう書いてあるのを、まだ読んだことがないのか。『家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。これは、主がなさったことで、わたしたちの目には不思議に見える。』

委ねられた完全な世界

☞ 神は完全な世界を創造された

☞ 「ぶどう園を作り、垣を巡らし、その中に搾り場を掘り、見張りのやぐらを立て」

☞ 「見よ、それは極めて良かった」創世記1:31

☞ 調和・美・循環・連鎖・生産性……

☞ 神はこの世界を人間に委ねられた

☞ 「これを農夫たちに貸して」

☞ 「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」創世記1:28

神から世界を奪おうとした人間

☞ 与え主である神に反逆した人間たち

☞ 「農夫たちはこの僕たちを捕まえ、一人を袋だたきにし、一人を殺し、一人を石で打ち殺した。また、他の僕たちを前よりも多く送ったが、農夫たちは同じ目に遭わせた」

☞ 預言者たち〈モーセ～バプテスマのヨハネ〉

☞ ついに一人息子をも殺してしまった

☞ 「息子を捕まえ、ぶどう園の外にほうり出して殺してしまった」〈予言!〉

☞ 「しかし人々は、『十字架につける、十字架につける』と叫び続けた。」ルカ23:21

農夫たちを裁かなかった主人

- ☞ こんな農夫たち(人間)をどうするべきか?
 - ☞ 「彼らは言った。『その悪人どもをひどい目に遭わせて殺し、ぶどう園は、季節ごとに収穫を納めるほかの農夫たちに貸すにちがいない。』」
- ☞ 実際には神は人間を裁かなかった
 - ☞ 「怒りの器として滅びることになっていた者たちを寛大な心で耐え忍ばれた…」ローマ9:22
 - ☞ 福音はユダヤ人から異邦人に与えられたが…

不思議な大逆転

☞ 捨てられた石が建物の礎石となった

☞ 『家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。これは、主がなされたことで、わたしたちの目には不思議に見える。』詩篇118:22,23

☞ 十字架に架けられて殺された神の独り子を土台として、神の国は建てられた

☞ 「十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。わたしたちが、罪に対して死んで、義によって生きるようになるためです。」1ペトロ2:24

死刑囚を王とする国

- ☞ 神はこの世界を人間の手から取り戻すために、力ではなく愛を用いられた
 - ☞ 「しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。」ローマ5:8
- ☞ 「自分の国」ではなく、「神の国」を建てる
 - ☞ 自分の願い通りになるのではなく、神の願い通りになることを求める
 - ☞ それがたとえ「捨て石」のように思える事でも